こども環境学会２０１５年大会（福島）
2015年４月24日（金）～26日（日）

報告書（概要）

【１】企画概要

■タイトル：こども環境学会２０１５年大会（福島）
■大会テーマ：「子どもが元気に育つ復興まちづくり」
■期日：平成27年4月24日（金）～26日（日）
■会場：福島大学金谷川キャンパス、L講義棟およびM講義棟（〒960-1296　福島県福島市金谷川1番地）

■大会主旨・目的:
こども環境学会では、東日本大震災の発災以降、被災地におけるこども環境の復興支援に力を注い
できました。2012年4月には、仙台市において、「復興再生：子どもの参画—こどもに優しいまちづくり」
をテーマとして大会を開催し、復興において子どもの視点と子どもの参画が必要であることをア
ピールしました。
震災から4年が経過する2015年4月の福島大会では、「子どもが元気に育つ復興まちづくり」をテーマに、
これまでの復興の歩みを再確認し、今後の復興への道筋を提案するものとしました。特に原発
事故の影響を受けている福島県においてこの大会を開催することにより、被災地全般だけでなく、福
島県の特殊性も踏まえた参加者の広い理解と今後の復興に向けた方向性の示唆があったと考
えています。

■参加者数:
大会参加者数合計276名
  有料参加者　167名、招待5名、福島県民　大人51名、福島県民　こども3名、
  ボランティア　19名、報道4名、講師　27名（会員除く）
  交流会参加者　92名（有料　82名、招待　10名）
  エクスカーション　38名
  Aコース有料参加者　22名、コーディネーター2名
  Bコース有料参加者　13名、コーディネーター1名

■内容（概要）:
【4月24日（金）】
  ◆エクスカーション：こどものための施設見学ツアー
    A. ほうとう幼児園庭園復興計画・Jヴィレ・津波被害等の視察
    B. PEP Kids Koriyama・本宮市スマイルキッズパーク等の屋内外遊び場・三春中学校の視察

【4月25日（土）】
  ◆9:30開会式、オープニングセレモニー
  実行委員長あいさつ・大会趣旨説明：仙田満（東京工業大学　名誉教授）
  知事あいさつ：内閣府（福島県知事）代理　鈴木正晃（福島県副知事）
  学長あいさつ：中井勝己（福島大学　学長）
  会長あいさつ：小澤紀美子（東京学芸大学　名誉教授）
◆10:00 基調講演 「こどもにやさしい復興まちづくり」
「保育の質」の視点から考える：大宮勇雄（福島大学 人間発達文化学部 教授）
被災地域での子どもの健やかな成長のために：佐藤滋（早稲田大学教授 元日本建築学会会長）
子どもと築く復興まちづくり協働プロジェクト：佐藤慎也（山形大学 地域教育文化学部 教授）

◆13:30 メインフォーラム 「こどもにやさしいまちづくり—自治体首長の取り組み」
市長ごあいさつ：小林香（福島市長）
日本の子育てしやすい環境づくりに向けて：尾形淳一（福島県保健福祉部こども未来局長）
みんなが誇れる県都ふくしまを創る—震災からの復興と未来を拓く街づくり：小林香（福島市長）
子どもの未来をひらく故郷いわきへ：清水敏男（いわき市長）
発電所立地大熊町の現況、そして未来：渡辺利綱（大熊町長）
村の想い、親の想い、そして私の想い：菅野典雄（飯舘村長）
福島大学災害ボランティアセンターの取り組み：鈴木典夫（福島大学 教授）
福島が拓く子どもの未来：中島興世（子育てと教育を考える首長の会 事務局長）
コーディネーター：仙田満

◆16:30 学会の震災支援活動報告：小澤紀美子
◆17:00 会員総会：2014年度事業報告・決算報告、2015年度事業計画・予算計画、社員選挙報告
◆18:00 懇親会

【4月26日（日）】
◆9:30-12:00 分科会（4セッション）
1. 子どもの遊び場とその充実
   天野秀昭（大正大学 特命教授）
   星野謙（コドモ・ワカモノ・まちing 代表）
   佐藤耕平（いいざかサポーターズクラブ 理事）
   原原豊（三陸ひとつなぎ自然学校 チーフマネージャー）
   吉永真理（昭和薬科大学 教授）
2. 福島の子どもたちを日本一元気に
   原光彦（東京都立広尾病院 小児科部長）
   中村和彦（山梨大学 教授）
   宮島則子（前東京都荒川区立汐入小学校 主査栄養士、食育アドバイザー）
   加藤篤（NPO 法人日本トイレ研究所 代表理事）
   神谷明宏（聖徳大学准教授）
   菊池信太郎（菊池医院院長 小児科医）
3. 新たな保育・教育の実践と環境
   舟山千賀子（飯坂恵泉幼稚園 園長）
   出原大（夢の島保育園 園長）
   亀ヶ谷忠宏（宮城幼稚園 園長）
   大澤力（東京家政大学 教授）
   大宮勇雄（福島大学 教授）
   新田新一郎（プランニング開主宰）
   生駒恭子（ほうとう幼稚園 副園長）
4. こどもが元気になる環境デザイン

2
阿部直人（ARCHI STUDIO/阿部直人建築研究所 代表）
山田亜希子（アリオスこどもプロジェクト遊び工房 代表）
菊川穂（一般社団法人エル・システムジャパン 代表理事）
倉本信之（画家、幼少年造形教育実践者）
佐久間治（九州工業大学 教授）

◆13:00-15:00 ポスターセッション
A. 学術研究・調査活動：41 編
B. 非営利団体の活動：4 編
C. 企業等の活動：3 編
D. 福岡県民の活動：4 編

◆13:00-15:00 こども参加のワークショップ
A. マンとママの親子体操
　ファシリテーター：ツインリンクもてぎハローウッズ 小瀬絵
B. 「たのしみ気持ち」に出会う遊びの時間！
　ファシリテーター：あんどーなつこと安藤耕司
C. ふれあいあそびうたコンサート
　ファシリテーター：プランニング開
D. 昔（コマ回し・絵巻）遊びを楽しもう！
　ファシリテーター：早川隆志
E. 防災遊び〜新聞紙や段ボール、レジ袋やTシャツが大変身〜
　ファシリテーター：NPO法人コドモ・ワカモノまちing 星野謙

◆15:00 学会賞表彰式・受賞記念講演会
学会賞の授与：論文著作賞 1 件、論文奨励賞 1 件、デザイン賞 1 件、デザイン奨励賞 2 件、活動賞 2 件、活動奨励賞 1 件、合計 8 件
受賞記念講演
　保育環境のデザイン：定行まり子（日本女子大学 教授）
　認定こども園さざなみの森：竹原義二（有建築工房）
　児童館石巻市子どもセンター：石巻市こどもまちづくりクラブ、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
　子ども達が地域をつなぐ〜被災地における子ども支援とコミュニティ形成：
　森原刚（釜湊県立会議、三陸ひとつつなぎ自然学校

◆16:30-17:00 総括セッション／閉会
各セッションの報告
閉会のあいさつ：福島県、小澤紀美子、鈴木典夫、仙田満

■同時開催：こども参加プログラム「サンドアートフェスティバル」
福島県内において、遊びの重要性が見直されてきているなかで、砂遊びの魅力を親子で体験できる場を提供しました。参加費無料。
主催：福島市、共催：こども環境学会
会場：福島市四季の里 全天候型多目的スペース「農村いちば」
http://www.f-shikinosato.com/
■主催：公益社団法人 こども環境学会
■共催：福島県、福島市、福島大学
■後援：
いわき市、大熊町、飯舘村、棚倉町、三春町、三春町教育委員会、宮城県、岩手県
内閣府、国土交通省、文部科学省、厚生労働省、環境省、日本学術会議、科学技术振興機構、日本ユニセフ協会、日本ユーネスコ協会連盟、日本建築学会、日本都市計画学会、日本造園学会、日本環境教育学会、日本発達心理学会、日本保育学会、日本体育学会、人間・環境学会、日本安全教育学会、日本感性工学会、日本小児保健全協会、日本建築家協会、都市計画コンサルタント協会、日本公園施設業協会、日本公園緑地協会、公園財団、日本造園建築業協会、都市緑化機構、IPA 日本支部、チャイルドライン支援センター、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、聖徳大学、

■参加費等
大会参加費：正会員、団体会員：5,000 円（当日参加は、5,500 円）、学生会員、一般学生：3,000 円（当日参加は、3,500 円）、会員外（福島県民以外）：6,000 円（当日参加は、6,500 円）
※福島県民の参加費は免除。

■事務局：公益社団法人 こども環境学会事務局
〒106-0044 東京都港区東麻布 3-4-7 麻布第 1 コーポ 601
TEL：03-6441-0564  FAX：03-6441-0563
e-mail：info@children-env.org, URL：http://www.children-env.org/
サンドアートで何作る？

パラッキで砂を絞りました。シャベルやスコップを使って砂をこね、こねてから、大きな石や小さい石、大きいやがりなどが自由に作られる絵画探ししました。完成の砂絵は「サンドアート」と呼ばれ、美術品として描かれていました。

福島市で開催されたサンドアート作りのイベントには、市民だけでなく子供たちも参加しました。石や砂を用いて、さまざまなアートを作り、完成した作品を見つける楽しみがありました。
2015年5月5日

編集

ふくしまの子